

博士学位論文審査願出
 手続きについて
 博士學位申請

京都大学大学院農学研究科

【事前確認（下見）】（論文提出締切の1週間前まで）

提出書類の⑤⑥⑦⑧の様式について提出前に確認しますので、提出論文表紙及び目次の写しと共に大学院教務掛までご持参ください。メールでも結構です。

論文提出締切の1週間前までには必ず事前確認を済ませてください。

【提出書類と部数】

- ① 学位論文審査願（課程博士の場合）…… 1通
- 学位申請書（論文博士の場合）
- ② 論文（冊子）…… 3冊
 （※学位授与後、3冊のうち1冊は論文調査委員（主査）に返却します。）
- ③ 論文全文のデータ（PDFファイル）…… 1個
- ④ 論文の要約データ（作成後印刷したもの）…… 3通
 〃（PDFファイル）…… 1個
- ※④は、要約公表を申請する場合のみ必要
 題目と氏名を必ず記載し、作成については指導教員に相談してください。
- ⑤ 「博士学位論文の公表方法について」（記入後印刷したもの）…… 1通
 〃（Excelファイル）…… 1個
- ⑥ 論文目録（様式1）…… 3通
- ⑦ 履歴書（様式2）…… 3通
- ⑧ 論文要旨（様式3）（作成後印刷したもの）…… 1通
 〃（Wordファイル）…… 1個
- ⑨ 学位論文審査手数料振込金受取書の写し（論文博士の場合）
 （※【提出書類の作成について】「V学位論文審査手数料の納入について」をご参照ください。）
- ⑩ 論文題目等データ……次により、論文提出日までにメールで送信願います。
 （宛先：dcgakui@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp）
- ・申請者氏名（ふりがな含む）
 - ・氏名の英文表記
 - ・論文題目（英文の場合は和訳も含む）
 - ・指導（担当）教員名
- なお、メールのタイトルは〇月提出課程博士又は論文博士（氏名）としてください。
 ＊例：1月提出課程博士（農学太郎）
- ⑪ 「学位論文全文データ公表報告」…… 1通
 要約公表を選択し、かつ全文公表への切り替え日が未定の場合は、全文公表への切り替え日が決定次第、本様式を使用して大学院教務掛へ報告してください。

【全般的な注意事項】

1. 様式について
 横書きとし、別紙記載例参照。①⑤⑥⑦の提出年月日は申請日（大学院教務掛への提出日）にしてください。
2. 用紙について
 ①、⑥、⑦、⑧・・・記入例を参照し、できるだけA4判1枚で作成願います。
3. 記載方法等について
 (1) 黒又は青色のペン、ボールペン、ワープロ、タイプ印刷等の永久保存に耐え得るものとしてください。
 (2) 楷書で正確・明瞭に記載し、あて字・略字は使用しないでください。
 (3) 誤記、脱字等のある場合は訂正のうえ当該箇所に捺印してください。
 なお、訂正の著しい場合には改めて作成してください。
4. 提出締切日について
 研究科会議の概ね15日前を提出期限としておりますが、事前に必ず確認してください。
 特に12月、1月、2月、3月は会議の日程が変更になる場合がありますので早めに確認してく

┌┌┌ 氏名
└┬─┬ 全角「・」
└─┬─┬ 課程博士の場合は「課」、論文博士の場合は「論」

2. 学位論文の要約データ（要約公表を申請する場合のみ必要）

(1) ファイル形式の指定は、「1. 学位論文の全文データ」と同様。

(2) ファイル名

ファイル名は、以下のとおりとしてください。

「課・〇〇 〇〇・要約.pdf」
┌┌┌ 氏名
└┬─┬ 全角「・」
└─┬─┬ 固定文字
└─┬─┬ 全角「・」
└─┬─┬ 課程博士の場合は「課」、論文博士の場合は「論」

3. 「博士学位論文の公表方法について」

(1) ファイル形式：excel ファイル

① 全文公表とするか要約公表とするか、及び公表の時期等については、指導教員（又は論文調査委員）と相談の上、作成してください。

② 全文公表とする場合は、著作権その他の登録・公開に係る支障の無いことを確認したうえで登録・公開する必要がある点、充分注意してください。

(2) ファイル名

ファイル名は、以下のとおりとしてください。

「課・〇〇 〇〇・公表.xls(x)」
┌┌┌ 氏名
└┬─┬ 全角「・」
└─┬─┬ 固定文字
└─┬─┬ 全角「・」
└─┬─┬ 課程博士の場合は「課」、論文博士の場合は「論」

(3) 本資料については、データと併せて、紙媒体（指導教員（又は論文調査委員）が確認したもの）を提出してください。

Ⅲ 論文目録（別添様式のとおり、注意書きに留意して記載してください。）

A. 主論文

1. 題目について

(1) 題目（副題を含む）は、提出論文のとおり記載してください。

(2) 題目が外国語の場合は、題目の次にその和訳を（ ）を付して併記してください。

(3) 題目を異にする数個の論文をまとめて1編の学位論文としたものについてはその総合題目を記載し、個々の題目は記載しないでください。

(4) ある主題のものに発表した数個の論文で、それぞれ当該論文に一連番号（例えば「第〇報」あるいは「第〇部」等）が付されているものを学位論文としたものにあたっては、その一連番号は記載しないでください。

2. 発表の方法・時期について

(1) 発表は、単行の書籍または学術雑誌等の公刊物（以下「発表誌」という）に登載して行うものです。

(2) 発表誌は、学術資料として大学その他の学術機関において保存され、随時閲覧し得るものにしてください。

(3) 学位論文を編・章等その構成上の区分により、あるいは内容上研究事項別に分割発表することができます。

(4) 論文全編をまとめて発表したものについては、その発表年月日、発表誌名（雑誌の場合は巻・号）または、発行所名等を記載してください。

また、編・章等の区分により発表したものについては、それぞれの区分ごとに発表の方法・時期を記載してください。

(5) 学位論文（編・章等）とは別の題目で発表した論文をもって発表したものとする場合については、その題目を [] を付して併記してください。

(6) 未発表のものについては、その発表の方法・時期の予定を記載してください。申請時に予定が定まっていない場合は「未定」としてください。

3. 冊数について

- (1) 学位論文1通について冊数を記載してください。
- (2) 附図等を別冊として添付している場合は、その別冊を加えた冊数としてください。
ただし、冊子としていない附図等を添付した場合は「〇冊（附図添付）」のように記載してください。主論文1編のみの場合は、「1冊」と記載してください。

B. 参考論文

- (1) 主論文に準じ、その題目、発表の方法及び時期（予定を含む）並びに冊数を記載して下さい。
- (2) 共著のものについては共著者名等を付記してください。共著者多数の場合は「〇〇〇〇ほか〇名共著」のように記載してください。
- (3) 参考論文が2種以上ある場合は列記してください。その記載順序は任意です。

IV 履歴書

1. 本籍地について

都道府県名のみ記載してください。外国人の場合は国籍を記載してください。

2. 現住所について

- (1) 住民票に記載されている住所（公称地名・地番）を記載してください。
- (2) 学位授与式の通知その他、通信上支障のないように団地名、宿舍名、番号等を正確に記載してください。また、郵便番号も記載してください。
- (3) 外国出張等で長期にわたり海外に在住する予定である場合は、その居住地を記載してください。また、国内連絡先がある場合はその旨を申請時に申し出てください。

3. 氏名について

- (1) 戸籍又は在留カード（外国人登録済証明書）のとおり記載し、通称名等は一切用いないください。
ただし、国籍が漢字圏の外国人留学生は、原則、学生証に記載の氏名を記載してください。
また、国籍が漢字圏の論文博士申請者は、住民票に記載された本名又は通称氏名を記載してください。
ただし、旧姓及び旧姓併記で学位記の発行を希望する場合は、申し出てください。
- (2) 氏名には必ずふりがなを付してください。外国人はカタカナで付してください。
- (3) 氏名の下に生年月日を記載してください。外国人は西暦で記載してください。

4. 学歴について

- (1) 高等学校卒業後の学歴について、年次を追って記載してください。
外国機関の場合は国名も（ ）で付記してください。
- (2) 入学、進学、休学、復学、編入学、卒業及び修了その他、在学中における身分上の異動についてももれなく記載してください。
- (3) 本学大学院博士後期課程を経た者にあつては、研究指導認定（見込）等についても記載してください。
なお、研究指導認定後も博士後期課程に在学中の場合は、最後に「現在に至る」と記入してください。
- (4) 在学中における学校の名称等の変更についても記載してください。

5. 職歴について

- (1) 常勤の職については、その勤務先、職名等を年次を追って記載すること。ただし、非常勤の職であっても特に教育・研究に関するものについては記載してください。
- (2) 現職については、当該職について記載した箇所に「現在に至る」と明示してください。

6. 研究歴について

- (1) 学位申請上、特記すべきものと思われる研究歴について、年次を追って事項別に記載してください。外国の機関の場合は国名も記載してください。
- (2) 学術に関する研究歴として記載する事項は、およそ次のようなものです。
 - a. 研究課題（共同研究を含む）に関するもの
 - b. 研修に関するもの
 - c. 学術調査に関するもの
 - d. 研究発表（著書・論文等）に関するもの
 - e. 学術奨励金に関するもの
 - f. 学会に関するもの
 - g. その他学位審査の参考となるもの
- (3) 学歴又は職歴として記載することが適当なものについては、研究歴の項に重複して記載しないでください。
在学中の日本学術振興会特別研究員、在職中の大学・研究所等への出向は、研究歴に記載し

て構いません。

7. 賞罰について

学位授与申請上、特記すべきと思われるものを記載してください。

【例】 ○年○月○日 ○○○○○学会賞受賞

V 論文要旨（別添様式のとおり、注意書きに留意して記載してください。）

VI 学位論文審査手数料の納入について（課程博士については、不要。）

1. 学位論文審査手数料の納入は、**銀行振込により**行ってください。
（論文提出時に現金で納付されても受理できませんので、ご注意ください。）
なお、振込に際しては、銀行所定の振込依頼書様式をお使いください。
2. 振込先口座は以下のとおりです。
振込先銀行名：三井住友銀行京都支店（銀行コード0009 店番号496）
口座名義：国立大学法人京都大学
口座 座：普通預金
口座番号：8089363
振込金額：57,000円
3. 振込手数料が必要な場合は、申請者の負担となります。
4. 学位申請後の審査手数料については返還できませんので、学位を申請されることが確定してから、振込手続きを行ってください。
5. 博士学位申請時には、論文・論文目録・履歴書等のご提出と併せて、銀行で受理された領収書等を提示してください（コピーを取らせていただきます）。
（学位論文審査手数料の収納が確認できない場合は、受理できませんので、ご注意願います。）

本件に関する照会先

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学農学研究科大学院教務掛
Tel 075-753-6478
Fax 075-753-6005
dcgakui@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp